学校番号	119

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	精選「現代文Ｂ」（大修館書店）						
副教材等	新国語総合ガイド（京都書房）、常用漢字クリア（尚文出版）、日本文学史（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年生では社会人に必要となる国語の力を充実させることを心がけましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・さまざまなジャンルの作品に親しむとともに、正しく論理、構成や心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・さまざまなスタイルの文章に関心を持ち、国語を尊重する態度が身についている。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート、論作文等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価等）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙、論作文等）	記述の確認及び分析（ノート、ワークシート等） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論の論理を理解するⅠ	教材: 「ミロのヴィーナス」	○			◎	○	a:考えの進め方など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:考えの進め方など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート
	評論の論理を理解するⅡ	教材 「豊かさとつながり」	○			◎	○	a: 環境問題について関心をもち、意欲的に学習に取り組んでいる。 d: 環境問題の原因について、筆者が具体例やデータを示しながらどのように説明しているのか読み取っている。 e: 語句の意味を正しく理解し、漢字を正しく読み書きしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート
	小説の内容を理解するⅠ	教材: 「山月記」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手が描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いについて理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート及び定期考査
	話し合おうⅠ	〈小説の感想について話し合うことで、話し方聞き方を学ぶ〉 教材: 「『山月記』について話し合おう」 ワークシート	○	◎			○	a:話す内容について根拠を示し、自分の意見を述べようとしている。 b: 話す内容について根拠を示し、自分の意見を述べている。 e:話すこと・聞くことに必要な文章の形態や文体の違いについて理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認
	本を紹介する	〈本を紹介しあうことで、話し方聞き方を学ぶ〉 教材: 「ブックトークをしよう」 ワークシート	○	◎			○	a:話す内容について幅広く資料などに当たって調べようとしている。 b:話す内容について幅広く資料などに当たって調べている。 e:話すこと・聞くことに必要な文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認

2学期	小説の内容を理解するⅡ	教材: 「山椒魚」	○			◎	○	a: ユーモアやペーソスの混じった文体を理解し、文章のおもしろさを味わっている。 d: 主人公の気持ちがどのように変化しているか読み取っている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート及び定期考査
	評論の論理を理解するⅢ	教材: 「『考える葦』であり続ける」	○			◎	○	a: 教材の内容を自身の身近な問題ととらえて、意欲的に学習に取り組んでいる。 d: ・筆者の述べる「情報」「知識」「思考」の違いを的確に読み取っている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート及び定期考査
	評論の論理を理解するⅣ	教材: 「敬語への自覚、他者への自覚」	○			◎	○	a: 教材の内容を自身の身近な問題ととらえて、意欲的に学習に取り組んでいる。 d: 筆者の、「敬語」が必要だという主張の内容を理解している。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート及び定期考査
	小説の内容を理解するⅢ	教材: 「こころ」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手が描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いについて理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート及び定期考査
	意見文を書こう	教材: 「小論文を書こう」 ワークシート	○		◎		○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、c、e: 記述の点検と確認(原稿用紙等)
	話し合おうⅡ	〈小説の感想について話し合うことで、話し方聞き方を学ぶ〉 教材: 「『こころ』について話し合おう」 ワークシート	○	◎			○	a:話す内容について根拠を示し、自分の意見を述べようとしている。 b: 話す内容について根拠を示し、自分の意見を述べている。 e:話すこと・聞くことに必要な文章の形態や文体の違いについて理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認

3学期	近代の文章を読む	教材: 「たけくらべ」	○			◎	○	a: 文語体の小説のもつリズムや響きを味わいながら鑑賞しようとしている。 d: 辞書などを利用しながら古語の意味をつかみ、文意を読み取っている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート
	詩を味わう	教材: 「永訣の朝」	○			◎	○	a: 詩歌を読むおもしろさを体験し、詩歌への興味、関心をもつ。 d: 作品の中に表れている作者の思想について、考えを深めている。 e:形態や文体の違いについて理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート及び定期考査
	評論の論理を理解するⅣ	教材: 「世界は、いまー「多文化世界」の構築」	○			◎	○	a: 論理の展開のしかたや要旨をとらえ、教材文の論述の優れた点を読み取ろうとしている。 d: グローバル化が抱える問題点を読み取っている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:ノート、ワークシート及び定期考査
	調べてレポートにまとめる	〈正確な情報を伝え、自分の考えを論理的に構成することを通してレポートの書き方を学ぶ〉 教材: 「レポートを書こう」、 ワークシート、 原稿用紙	○		◎		○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、c、e: 記述の点検と確認及び分析